

令和8年度 指定管理施設の管理運営に関する月次評価について

施設所管課名：こども家庭支援センターこども家庭支援課

1 施設概要

施設名称	横須賀市療育相談センター
指定管理者名	社会福祉法人青い鳥
指定期間	令和6年4月1日～令和16年3月31日（10年間）

2 月次評価

評価月	評価
4月	・診療部門、地域生活支援部門、通園部門のいずれにおいても、円滑かつ安定した運営が行われていた。 ・診療所では、初診94名、再診1,091件（合計1,185件）と高いニーズに対応しており、診療・療育の継続性が確保されている。 ・年度初めのため、新規採用職員や人事異動等があるが、スムーズな引継ぎを実施し、業務や支援の継続性が確保されている。 ・入園式や全保護者を対象としたひまわり園年度初めの会を開催し、利用者に対する円活なサービス提供が図られている。
5月	・診療部門、地域生活支援部門、通園部門のいずれにおいても、円滑かつ安定した運営が行われていた。 ・診療所では、初診66名、再診1,102件（合計1,168件）と高いニーズに対応しており、診療・療育の継続性が確保されている。 ・通園課では、親子クラスでのミニ勉強会を実施するとともに、併行・併用通園児の通園先を担当が巡回し、きめ細やかな対応を図っていた。 ・地域生活支援部門では、市内の健康福祉センターとの連絡会を実施。ソーシャルワーカーが各センターに出向いて情報交換を行うなど、各地域における連携を図っていた。 ・教育委員会と合同で就学説明会を開催し、通園年長児童及び診療外来利用児童の保護者向けに就学に向けての情報提供を行った。参加者は合計173名に上り、保護者の関心の高さが窺われる。 ・今後も、ライフステージに合わせた細やかな情報提供を行うとともに、保護者の抱える様々な不安や課題の解消に繋がる支援を継続していただきたい。

6 月	・診療部門、地域生活支援部門、通園部門のいずれにおいても、円滑かつ安定した運営が行われていた。 ・診療所では、初診 101 名、再診 1,237 件（合計 1,338 件）と高いニーズに対応しており、診療・療育の継続性が確保されている。 ・通園部門では、保育所・幼稚園・学校等への訪問支援や巡回相談を積極的に実施しており、地域との連携が図られている。また、6 月は避難訓練を実施しており、安全管理にも努めている。 ・地域生活支援部門においても、保育所等訪問支援、巡回相談、親子教室などを通じて、家庭・園・学校への支援を継続している。また、医療的ケア児コーディネーター定例会等へ出席するなど、地域支援の基盤づくりに努めている。 ・医療・療育・相談・地域支援を一体的に運営し、利用者支援と地域連携の両面で着実な成果を上げている。今後も、現状の安定した運営を継続するとともに、増加する相談・支援ニーズに対して、より一層きめ細かな対応を期待する。
7 月	・診療部門、地域生活支援部門、通園部門のいずれにおいても、円滑かつ安定した運営が行われていた。 ・診療所では、初診 112 名、再診 1,231 件（合計 1,343 件）と高いニーズに対応しており、診療・療育の継続性が確保されている。 ・通園部門では、保護者全体親睦会、ひまわり園親子 Day（利用児の親を対象）、ひまわり園オープンデー（利用児の小学生のきょうだい児を対象）、巡回相談、施設見学会（併行先の職員を対象）等を実施し、利用児への支援と保護者・関係機関との連携を図るよう努めている。 ・地域生活支援部門においては、保育所等訪問支援、巡回相談、親子教室などを通じて、家庭・園・学校への支援を継続している。また、7 月は新規の電話相談が多く、83 件のインテーク（初回相談）を実施した。 ・管理部門では、施設点検、運営協議会の開催、職員研修等が適切に行われ、安定した管理運営が確保されている。 ・今後も、増加する支援ニーズに的確に対応するとともに、関係機関との連携強化及び支援の質の向上に努められたい。
8 月	
9 月	
10 月	
11 月	

12 月	
1 月	
2 月	
3 月	